



各 位

平成 18 年 9 月 14 日

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三  
 (コード番号 4820 東証 第二部)  
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓  
 (T E L 06 - 6397 - 1888)

## 業績予想 (連結・単体) の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 18 年 5 月 17 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 3 月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

|                                 | 売上高   | 経常利益  | 中間純利益 |
|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)                      | 5,147 | 560   | 319   |
| 今回修正予想 (B)                      | 5,434 | 730   | 410   |
| 増減額 (B - A)                     | 286   | 170   | 91    |
| 増減率 (%)                         | 5.6%  | 30.4% | 28.5% |
| (ご参考)<br>前期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績 | 4,401 | 516   | 273   |

#### 2. 平成 19 年 3 月期 中間単体業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

|                                 | 売上高   | 経常利益  | 中間純利益 |
|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A)                      | 3,863 | 545   | 311   |
| 今回修正予想 (B)                      | 4,166 | 747   | 428   |
| 増減額 (B - A)                     | 302   | 201   | 117   |
| 増減率 (%)                         | 7.8%  | 37.0% | 37.7% |
| (ご参考)<br>前期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績 | 3,365 | 491   | 258   |

#### 3. 修正理由

調剤薬局向けシステム事業につきましては、出店競争や業界再編が加速している調剤薬局チェーンやドラッグストア市場において、当社グループが保有するASPのノウハウに対する需要が引き続き高まっており、「Recepty」の新規導入や他社製品からの切り替え導入へと繋がっております。調剤薬局チェーンでは、業界の競争激化に戦略的に対応するため、コスト管理や新たな付加価値の提供に対して、意欲的に取り組んでおります。また、薬剤師の電子薬歴に対する認知度の上昇により、服薬指導支援システム「Navity」に対する需要が引き続き高まり、当初計画しておりました「Navity」の販売件数を上回る見込みとなりました。また、「Navity」が「Recepty」の導入とあわせて採用されており、1件あたりのシステム販売単価が上昇傾向であります。本年6月より本番稼働しました「EMフィールド コミュニケーションセンター (EM Field Communication Center) (非対面営業センター) も順調に活動しております。従来のビジネスモデルと絡めた営業活動の展開により、お客様満足度の向上や提案機会の拡大が得られており、「Recepty」における旧製品からの自社リプレースのみならず新規ユーザーの獲得を目指して、今後も展開してまいります。

医科システム事業につきましては、当初見込を上回る需要があり、増加傾向にあります。

調剤薬局事業につきましては、医療制度改革による薬価の見直しに伴い、薬剤仕入価格の交渉中であり、前年度の価格により算定しております。

このような状況が売上高、経常利益、純利益に寄与し、平成 18 年 5 月 17 日に開示しました中間業績予想を上回る見込みとなりました。また、単体決算の中間業績予想の修正に伴い、連結決算の中間業績予想も修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては現在見直し作業を行っており、中間決算発表時に公表いたします。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上